



敗戦国メイドの  
躄け調教♡

基本CG 13枚



































































































アストラ帝国 王子直属メイド隊  
隊長 レイン



彼女は若くして隊長に大抜擢された、  
王子に忠誠を誓うメイドである。

レインは才気と気品にあふれ、様々なことに気配りが効く、  
帝国宮廷内の誰もが憧れる女性であった。



おはようございます、  
ご主人様。  
ご機嫌麗しくございます。

王子直属メイドの職務内容には、王子の要望に応じて夜を共に過ごすことも当然含まれていたが、最年少で選抜されたレインは未だ処女のままであった。



「レインが〇〇歳の誕生日を迎えたらな。」という王子のお言葉。レインは慕っている王子との初夜を心待ちにしていた。

そんな主人への忠誠と密かな恋心を胸に、レインはいつものように職務を務めていた。

ご主人様！  
今日はとても良い天気で  
気持ちいいですよ！



いつも元気なレインの屈託のない笑顔に、王子を含む宮廷内の皆が癒やされていた。

はい、メイド隊のみんな！  
点呼とるよー！



しかし王子が、そんなレインの笑顔を見ることが出来たのは、この日が最後であった。

帝国暦511年、隣国メンヒスが突然の同盟破棄を宣言。

同時に帝国へ宣戦布告。

戦力の手薄な背後からの侵攻に帝国は為す術なく惨敗。

わずか数日で王宮を占領されてしまう。

レインは、メンヒスの悪名高き宰相グスタフに囚われ幽閉された。







はっ  
こんは...ん?

ん...  
ん...

やあ、お目覚めかな？  
レインよ

お前は…  
グスタフ！

おやおや…  
新しい主人に向かって  
けしからん言葉遣いだ

新しい主人？  
誰がお前などに！  
それより王子を  
どこにやったの！



あいつなら地下牢に幽閉している。  
まだ利用価値はあるからな。

くっ……  
許せない……

ふむ、一流メイドと聞いていたが、  
どうも賤けが足りていないようだ。  
ワシが直々に調教してやろう。



ビリビリビリッ……！  
グスタフはレインのメイド服をナイフで切り裂いた。  
まだ男性に見せたことのないレインのキレイな  
裸体は完全にあらわにされた。



きゃあああ！！

くくく…  
とてもキレイな身体だ。

くっ…  
見るな汚らわしい!





その威勢、  
いつまで保つかな？

ぎゃあ！  
何するの？！

特製の催淫剤だよ。  
これを塗り込まれて  
正気を保てた女は  
誰もおらんのだ。  
くくく…

どいッ

身体全体に催淫剤を塗られたレインの裸体はテカテカと  
艶かしく部屋の明かりを反射した。  
グスタフはまずレインの乳房と乳首に丹念にしつこく  
催淫剤を塗り込んでいった。



は…あ…  
乳首が…  
乳首が熱くて  
ジーンする

おやおや…  
早速気持ちよくなってきた  
ようだね。

ほう、そうかね？  
シートに染みが付き始めて  
いるのだがねえ

むにゅっ

くんゅっ

くっ…  
そんなこと…  
ない…っ！

どっ

どっ



グスタフは、ぶつくりと勃起したレインの乳首に、  
催淫剤を塗り込むように指で擦りあげた。  
僅かな痛みと強烈な快感に耐えきれず、  
レインは華奢な腰をくねらせ、人生初めて潮吹きを体験した。



あっあああああ  
あああああああ  
あああ！！！！

さて、お次は尻の  
お尻にも塗り込んでさっさとさっすが。

77.

77ッ

やっ…  
もうやだあ

なにこれ…  
お腹が、  
お腹がキュンキュン  
するよお。  
おかしくなるう

クッ  
クッ

クッ  
クッ



レインのクリトリスが十分に充血し膨らんだことを確認すると、グスタフは指先でそれを弾き上げた。意識が飛ぶような強烈な快感によって、レインの潮は天井まで吹き上がった。

ピン！！

ひぎいあああ  
あああああ  
あああ！！



強烈な絶頂を迎えた直後、休む間も与えられず、たつぷりと催淫剤を塗ったグスタフの指がレインの膣内に挿入された。



はっ  
ううああ…  
もうゆるしてえ



大きく勃起したクリトリスとGスポットを同時にせめられ、膣口からは愛液が溢れ出た。





ギュー

ズンキュ

ズンキュ

ズンキュ

ビッ

ビッ

あああああ  
あああぐううあ  
あああああ!

どうだ？  
ワシの特製催淫剤はすごい  
効き目だろっ？くく……

何度イッても、しずきが  
止まらない身体になっつてく  
から喜ぶがいい。

ふぐっ……  
あふう……。


そんな……



さあ、しっかりと啜えて、  
新しいご主人様に奉仕をするんだ

誰がアンタ  
なんか……!!

ム73



ほう…いいのかな？  
素直にならないと王子の命は保障  
できないのだからね？

くっ  
卑怯者…！！

そうは言うが、ペニスの臭いで  
まん汁ダラダラになっとるようだがね？

そ、そんなことない……っ！

グッパッ  
キュン♡ キュン♡



チョコ パクッ

むじゅっ...  
しゅ...しゅ...



チョコ パワッ

むじゅっ...  
しゅ...しゅ...

うおお…  
なかなかないぞ！  
温かい舌が絡んできおるわ！

ぐい  
ぽっ  
ジュッポ  
ジュッ  
ぐ  
ちゅ

んむっ…  
ぐ…んぐっ…

くくく、股間がうずくか！  
亀頭が喉を突く度に潮を吹いておるわ！

んふー！んぐっんぐっ……

んふっ  
んふっ  
んふっ  
んふっ

んふっ  
んふっ  
んふっ  
んふっ





おっと、吐き出すなよ。  
全部口の中で受け止めるんだ。

んくっ……んぐう〜

ビュッ  
ビュッ  
ジュルル  
ジュルル

パッ  
パッ♡  
プッ  
プッ



う……うええ……

ありがたく全部  
飲み込め！

ガロオ





ゴクン

くくく…  
そねどらう





上手に飲み込めたし、  
下にも褒美をやるう。

ひっ！  
それだけは！  
初めては王子に……

くくく、初めてか。  
それは良い。容赦はせんぞ

ビ  
ク  
ッ  
ビ  
ク  
ッ

ズ  
ッ  
ッ

ア  
ッ

ア  
ッ

いっ……  
いぎ……痛いよお  
王子い……たすけ

全部入ったぞ。  
処女卒業おめでとーしーレイン

う……ん……  
あ……

ずぶん

薬の効き目が切れてきたか。  
もつと塗り込んでやろう

トロオ

ㄱㄱ  
ㄱㄱ

や……それやだ  
もうやだあ!!

さすが帝国1のメイドのマ○ロ。  
ヒダヒダが絡まってきおる

あふっ…あつ  
なんで…  
きもち…い…



素晴らしい！最高の具合だぞレイン  
もう出そうだ！



あああ！  
中はだめえ

ぽちゅん

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

きゅん♡  
きゅん♡  
ぽちゅっ

うっ、すさまじい吸い付きだ！

ヒクッ  
グッ



ああ！  
あああああ  
ああああ！

ドクン  
ドクン



40  
30  
20

催淫剤で強制的に激しい快感を感じさせられる  
レインの初セックスはその後、数時間に及んだ。

はぁ、

はぁ、

はぁ、





イツてもイツても、うずまきの止まらない下腹部に  
何度も何度も肉棒を打ち立ててられた。

ズッ

ぬほっ

ズッ

ズッ

ぐちゃ

ズッ

ズッ

はぁっ♡

んっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

ふっ♡




何度目かも分からない激しい射精を子宮で感じながら、  
レインの意識は遠のいていった。

グスタフ邸 地下室

う……  
今度はどく……？





気がついたかレイン。  
ご機嫌いかがかね？  
なかなか素敵な格好だね。

やだ……  
見ないでください……

だいぶ態度が良くなつたね。  
君はアナルもキレイだ。  
ちよつといじつてあげよう

ズロツ

やあ！  
そんなところ  
やめてください




ぬいっ  
ぬいっ

痛い痛い痛い！  
動かさないでえ



くくく、痛みはすぐ無くなるさ。  
それはそうと、食事を持ってきたぞ。

え……？  
それが食事……？



先程の催淫剤に栄養素を配合したものだ。  
今日からこれを肛門から摂取するんだ。  
栄養素と催淫剤が直腸から吸収され、  
セックスのことしか考えられないようになるぞ

お尻から食事なんて  
そんな……

栄養素と薬が十分吸収されたら、  
残りカスゼリーが排泄されるからな。  
さあ、しっかりと食べるんだ。

ぬるっ

あうっ  
やめえっ





さあ続けて2本目だ。

くぼっ

やあ、もうむりい



最後の5本目だ！  
しっかり飲み込め！

ずい〜

あ あ あ あ  
あ あ あ あ  
あ あ あ あ

ゴホッ

ゴホッ



あああああ  
お腹苦しいい

ヒッ  
ヒッ

ギョルルル

無理もう  
出ちゃうう



おっと、せつかくの食事を吐くなよ！  
だらしない肛門には栓が必要だな

ギチ

ギチ

ギョフツ

ギョルルル

出したいよお  
お腹くるしい

吸収するのを待つ間に  
ワシは前で楽しませてもらうぞ

ぬ  
ぷっ  
ぷっ

あうっ！  
お腹がジーンジーンするぞ



直腸の脈動に合わせて  
前の穴も絡みついてきおるわ

あっ、はあ！すげっ  
きもち・いいいいー！

んっ ぬっ ふっ  
んっ

パンッ  
パンッ  
パンッ

パンッ  
パンッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ





ドクン

ドクン

うああ……  
熱いの……来てるっ

んっ  
んっ  
んっ  
んっ

ふう、たまらんマ○コだ。  
さて、そろそろ食事が終わった  
頃合いだな。

苦しいい  
栓抜いてえ

ギュルルル

ピッ  
ピッ  
ドク





あああああ！  
でりゅ！でりゅ！でりゅ！でりゅ！でりゅ！でりゅ！でりゅ！でりゅ！でりゅ！

ぶじゅ♡

ぶじゅ♡

でりゅ

ん♡  
あ♡

ふ♡

お♡イ♡

あ♡



ぶ  
じゅ  
♡

ぶ  
りゅ  
りゅ  
♡

ズ  
ル  
ル  
ル  
♡

ん♡  
お♡

ふ♡

お♡

お♡ イ♡♡

ハツハツハツハツ！  
帝国イチと謳われた美人メイド  
の素晴らしい食事姿だな！

ゴボ  
ホカ♡ ホカ♡

お尻の奥が…  
ジンジンしてえ…

ん♡  
お♡  
お♡ イ♡♡  
ふ♡  
お♡



直腸から吸収された催淫剤は一瞬にして浸透し、  
レインは身体中が性感帯になり、正気を失った。

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ

ズッ

んおおおおお♡  
動いてえ！もつと動いてえ！♡

んっ  
おっ

ふっ

おっ

おっ♡んっ♡

中がすごい熱さだぞ！  
トロットロにアナルが  
溶けておる！

1.0  
1.0  
1.0

1.0

1.0

すごいよお♡  
もっともつとほじってえええ♡

んっ  
おっ

ふっ

おっ

おっ♡

尻に出すぞー！

ドクジン  
ビュルル

ビュルル

は、♡

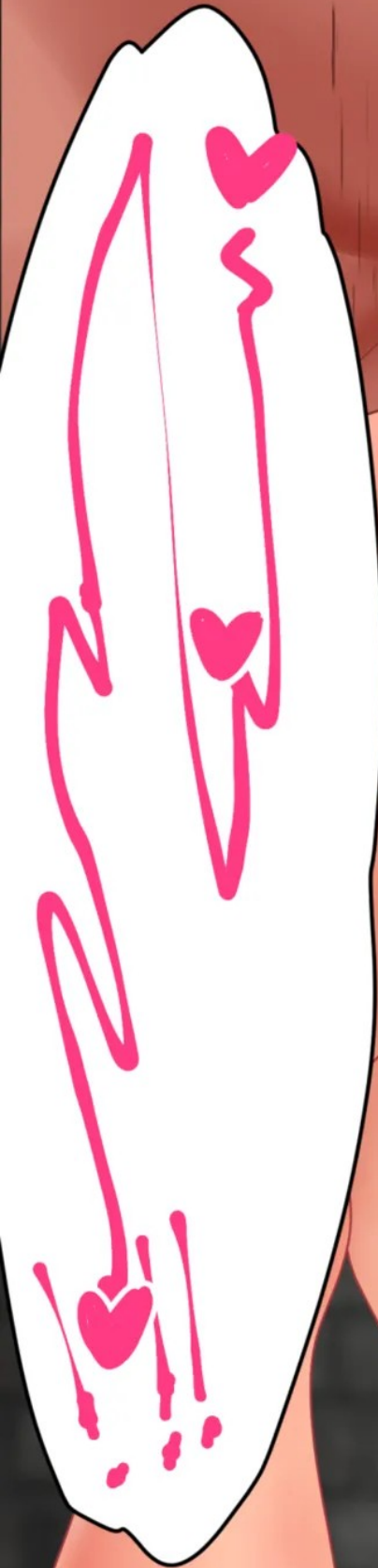
ん♡  
お♡

ふ♡

お♡

お♡イ♡

は、♡ は、♡





三ヶ月後...

睡眠以外のほぼ全ての時間、様々な調教を施される。

レインにとっては、気が遠くなるような長さの三ヶ月だった。

毎日直腸から吸収される催淫剤は


既にレインの身体に浸透しつくされ、

新たに注入するまでもなく、

身体は常に肉棒を求めるようになった。

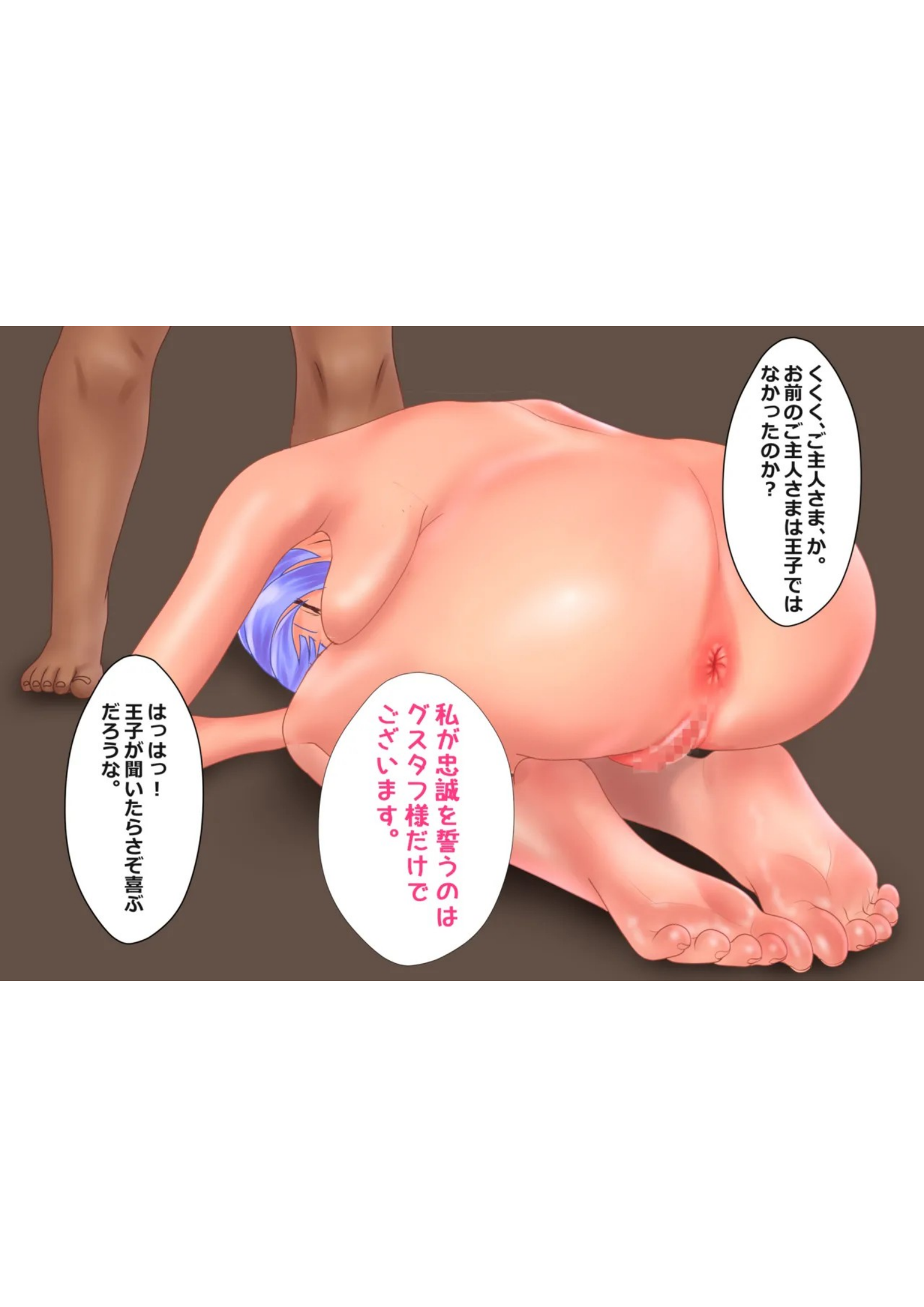
治まることのない欲情に飲み込まれ、二ヶ月経つ頃には精神が崩壊。

グスタフに奉仕し、寵愛を受けるこのみを求めるようになっていた。



身体の拘束が解かれ地下室から出るのは、  
グスタフ就寝前の奉仕の時間のみ。  
連日の調教でアナルはだらしなく緩み、  
クリトリスは常に勃起していた。

ご主人さま。  
今宵も私にご奉仕  
させていただきます。



くくく、ご主人さま、か。  
お前のご主人さまは王子では  
なかったのか？

私が忠誠を誓うのは  
グスタフ様だけで  
ございます。

はっはっ！  
王子が聞いたらさぞ喜ぶ  
だろうな。

今宵もどうか  
私を可愛がって  
いただけませんか？

ふん！  
すつかり淫乱なメス豚に  
なりおつたな！

では上で勝手に  
動くが良い

はああ……♡  
ご主人さまの……入っ  
てゐるう

ず  
ぶ  
ぶ  
う  
♡

奥まで……届くのお……  
気持ちいいよお

アッ  
アッ

アッ  
アッ

ほ  
ちゅっ

ほ  
ちゅっ  
お  
ちゅっ

ほ  
ちゅっ



あそびゴシゴシゴシゴシ  
だぞ……！

はいトトロトトロですのぉ♡

ん：イキそうです…  
レインがイクとこ見てください

ほちゅっ

ほちゅっ  
おすちゅっ

ほちゅっ

アロツ

アロツ



んああああっっっっ!!!!

パ  
ル  
ンッ

パ  
ルッ

ほ  
ちゅっ

ほ  
ちゅっ  
ほ  
ちゅっ

ほ  
ちゅっ



んっ♡  
んっ♡  
んっ♡  
んっ♡

ご主人さまもっとお。  
ジーンジーンが止まらないのお。

きんかう♡  
きんかう♡



今度はレイニのお尻  
見ててくださいませえ

ニムフゴ  
ゴ



ふっ

ふっ

はっはっはっ

はっはっ

はっはっ

ふっ

ふっ

はっはっ

お、お、  
あはあああああ...

おっはっ





はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ



はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

あはあ...

ご主人さまあ  
最高でございますう

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ



ふっ

ふっ

はっ はっ

はっ

はっ

ふっ

ふっ

はっ

どうぞアナルも味わって  
くださいますせ……

はっ  
はっ



ぷっ

はっ はっ はっ はっ

ぷっ

ぷっ

はっ

おほおっ

おっ、おっ

ぬほっ  
グ  
レ  
ム

すごいぞレイン……！  
もう出そうだ……！！

ふっ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ふっ

ふっ

ふっ

はぁ

あはあ  
嬉しい

中に熱いので出して  
くださいませえ

ぬほっ

ブー

ぬほっ





だいぶ可愛く育ってきた  
ようだな。  
褒美としてもう一発  
注いでやろう。

あふう…  
嬉しいです…







「いつか王子と」わずか三ヶ月前まで、  
そう夢見ていたレインのファーストキスは、  
新しいご主人さまとの濃厚で淫靡なものだった。

中にたじろりと出たぞー！

んむっ

んっ♡

はひっ  
お願いします  
ご主人さまああ

ちゅく

ちゅる

はっ♡

はまっ♡

んっ♡

んっ♡

ふっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

はちゅっ

はちゅっ





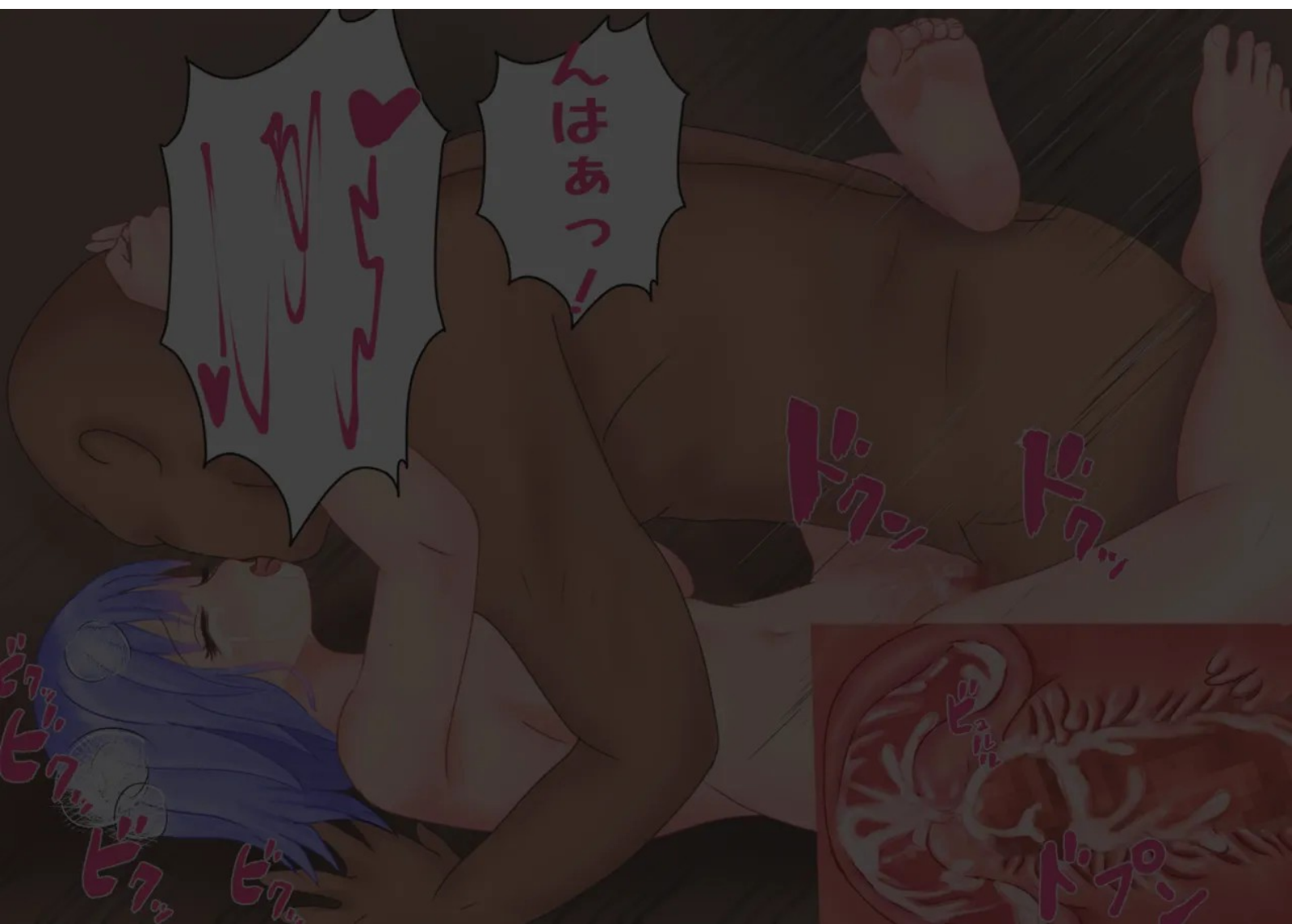
んはあっ!

んはあっ!

ドクッ ドクッ

びびっ  
びびっ  
びびっ  
びびっ

びびっ  
ドボン



んはあっ!

んはあっ!

ドクッ ドクッ

ドクッ ドクッ  
ドクッ ドクッ

ドボン

立てレイン。  
地下室で食事注入の時間だ。

はい、ご主人さま。  
仰せの通りに…

1  
E  
N  
D

はっ

はっ

はっ